

## 竹下亘自由民主党総務会長祝辞

本日、第61回町村議会議長全国大会が例年のごとく盛会裏に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、与党としてお招きいただきましたことに心から感謝申し上げます。自由民主党を代表して一言ご挨拶をさせていただきます。

まず皆様に、心からの感謝を表明します。先般の衆議院総選挙では、文字通り「地方の底力」ともいうべき皆様のご支援に支えられて、我が自由民主党は284議席を得させていただくことができました。与党の公明党とあわせて、安定政権を再びお与え頂いたことを背景にして、これから、お約束したことをひとつひとつ実行していくのが我々に課された使命であると肝に銘じております。

全国927の町村はみなそれぞれ悩みを抱えております。それぞれの町村が、種類こそ違えど様々な悩みを抱えています。しかし、それでも私たちは何としても地方を守り抜かなければならないという使命を背負っています。

町村長と町村議会とはまさに車の両輪です。チェック機能を果たすと同時に、「どうしたらこのふるさとを守り抜くことができるか」「どうしたら子どもたちや孫たちに少しでも良いふるさとを引き継ぐことができるか」を考え、懸命の努力をこれからもしていかななくてはなりません。

安倍内閣は「地方創生」という旗を高々と掲げて、「地方が元

気にならなければ、本当の日本ではない」「日本経済の活力は地方だ」と強く認識して汗をかいています。様々な予算措置を講じたり、あるいは制度の創設・変更を通じて、皆様方の要望にひとつひとつお応えしていこうと汗をかいている最中でございます。しかし、そのすべてを政府だけで成し遂げることはできません。皆様方をお願いしなくてはならないことがあるのです。

例えば小中学校の統廃合、公民館や図書館の新設等といった様々な事業を苦しい中でやっていただいておりますが、そこに「ふるさとの魂」をどう打ち込み、それをどう継承していくか。これは皆様の肩にかかっています。

我々自由民主党は、皆様から安定政権をお与えいただきました。このことを背景として、皆様とお約束したことをひとつひとつこれから実行して参ります。皆様と引き続き、徹底的に協力しながら、徹底的に議論しながら、様々な施策を進めていかななくてはならないと考えております。

田舎を守ってください。地方をしっかりと守り抜いてください。心からお願い申し上げまして、自由民主党を代表してのご挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 11 月 22 日

自由民主党総務会長

竹 下 亘